

# 令和3年度 麻布幼稚園学校評価について

港区立麻布幼稚園

園長 酒井 正美

保護者、学校運営協議会、教職員にアンケートを実施しました。

## 【各アンケート回答率】

保護者 98%（在園児数100名に対して休園2名を除く98名）

学校運営協議会 72%（18名中13名）

教職員 100%（正規教員と非常勤職員9名）

アンケートの結果を基に、自己評価を行いました。自己評価を学校運営協議会委員の皆様にお示ししご意見をいただき、以下のように、令和3年度の学校関係者評価としました。

## 【アンケート各項目についての評価】

### 〈幼稚園運営〉

7つの項目は、いずれのアンケートにおいても、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）の合計が、85.0%以上であり、幼稚園運営へのご理解をいただけたものと受け止めています。

○（1）については、保護者95.0%、学校運営協議会92.7%でした。自由記述では、園だより、学級だよりで幼稚園の取組がよく分かる、HPや学級だより、twitterの写真から幼児の様子がよく分かる、という意見をいただきました。各学年の取組がより伝わるように努めてまいります。

○今年度新たに導入された手紙や通知等の配信アプリ、保護者会での Zoom 活用は、ぜひ継続してほしいという意見が多くありました。Zoom は感染症対策としての活用に終わらず、仕事や家庭の事情に対応できるように継続していきたいと考えています。

#### 〈教育内容〉

9つの項目中8項目について、保護者の95.0%以上が、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）と回答、学校運営協議会85.0%以上の回答でした。教育内容についてご理解いただけていると受け止めています。

○自由記述では感染症への対策をとりながら工夫して様々な園行事を実施したことに対して多数評価をいただきました。「みなと科学館」の活用にも評価をいただきましたが、現地への送迎を保護者に依頼したことについては教職員から、また、保護者の自由意見に改善の意見が出されていました。次年度は、歩く経験や体力の向上の面から徒歩遠足を取り入れたいと考えており、「みなと科学館」の往復についても、学年差や時期から段階的に徒歩を取り入れ、教育課程に位置付けたいと考えています。

○異年齢の交流を意図的に取り入れたことに評価をいただきました。A（あてはまる）保護者の回答が、昨年度より11.2%増えました。保護者からも「異年齢の交流による育ちを感じた」「現状の中で、異年齢の関りはとても貴重である」という意見が多数ありました。継続をしていきたいと考えています。

○項目7（園内研究・研修）について、A（あてはまる）保護者の回答が、昨年度より11.2%増えました。しかし、学校運営協議会の皆様からは、E（わからない）28.5%という回答をいただきました。研究・研修の取組について、紙面やHP、Twitter等を活用し、分かり易く伝える工夫をしていきます。

## 〈安全・安心〉

3項目について、保護者の94.0%以上が、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）と回答、学校運営協議会78.5%以上の回答でした。幼稚園の安全・安心な取組についてご理解いただけていると受け止めています。

○項目1（感染症等）について、保護者の93.8%が、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）と回答、学校運営協議会85.6%の回答でした。概ねご理解いただけているものにとらえました。引き続き、丁寧に説明をしながら進めていきます。

○幼稚園玄関に続く通路2か所に扉を設置したことについて、安全が高まったという複数の意見が自由記述にありました。しかし、施錠されていない点への不安があるという意見もありました。施錠やオートロック化について引き続き対応を進めてまいります。

○項目3（特色ある教育）について、保護者の95.9%が、A（あてはまる）、B（ややあてはまる）と回答、学校運営協議会92.7%の回答でした。自由記述の中からは、「もちつき」「お茶会」等を貴重な経験と受け止めていることが分きました。感染症対策をしながらよりよい経験となるよう実施していきたいと考えています。

## 【総合的な評価と次年度の主な取組】

各項目についての回答と自由記述から、概ね幼稚園の取組についてご理解いただけているものと受け止め、基本的な方針や取組を継続・発展させてまいります。しかし、少数ではあるものの、C（あまりあてはまらない）、D（あてはまらない）、E（わからない）という評価や自由記述の意見を真摯に受け止め、個別に対応する事案なのか、全体にも

関連することなのか等、とらえた要因から改善に向けた対応をしていきます。また、紙面やHP、Twitterを活用し、分かりやすい伝え方を工夫します。

(健康、体力の向上の視点から)

感染症への対応については、引き続き基本的な行動や対応の徹底を図ってまいります。状況の変化には柔軟に対応し、幼児の育ちを保護者と共有しながら教育内容を充実していきます。

戸外遊びを引き続き積極的に取り入れ、体を動かす遊びを充実させます。講師を招いての運動遊びの会を年間に定期的に行い、様々な動きを体験する機会とし、日常の遊びにも生かす工夫をすることで、幼児がより体を動かす楽しさを味わえるようにしていきます。

徒歩遠足・みなと科学館への徒歩往復を学年の実態に合わせて計画的に実施し、自分の足で歩く楽しさ、充実感や達成感を味わわせ、体力の向上へとつなげます。

(人との関わり、国際理解教育の視点から)

日々の積み重ねから教師との信頼関係を築き、それを基盤に自分の力で行動する充実感が味わえるようにしていきます。

様々な人と関り、人との関わり方や関わることの楽しさが味わえるようにしていきます。日常的な教師や友達との関りに加え、誕生会・遠足などの機会を通じた異学年の交流を計画的に行います。学校探検、展覧会や作品展を互いに見合うなど、麻布小学校との交流、家庭科学習の機会を生かした六本木中学校との交流を行います。

言語の活動を充実させ、言葉に対する感覚を豊かにしていきます。講演会、保護者会

等を通して、保護者と幼児の母語の育ちの重要性を共有していきます。

遊びや生活の中で必要な言葉、自分の思いや考えを表す言葉、場や相手にふさわしい言葉など、言葉による伝え合いの機会の援助を丁寧に行います。絵本、童謡、お話を計画的に取り入れ、豊かなイメージや言葉に対する感覚が養われるようにします。また、英語に楽しく親しむ活動や、学級に在籍する外国につながる幼児の母語や文化に触れ、他国の言葉や文化に興味や関心をもつ機会をつくります。

七夕や餅つきなどの伝統的な行事、コマやカルタなどの伝統的な遊び、わらべうた遊び、地域の方の協力を得た盆踊りや茶道の体験など、自国の文化に親しむ経験を大切にしていきます。

#### (安全の視点から)

正門、幼稚園玄関の安全性が高まったとの評価を受け、これを継続していきます。玄関側の門扉の安全については、さらに安全性が高まるように改善していきます。

年間の避難訓練、安全指導では、様々な状況を想定した訓練や指導が行われていることに評価をいただきました。引き続き、実際の場面を想定した訓練、指導を計画的に実施すると共に、保護者・小学校・地域との連携をしていきます。

令和3年度 麻布幼稚園の教育へのご理解・ご協力をありがとうございました。上記の学校関係者評価を基に、「自分が大好き みんなも大好き 麻布っ子」をめざし、令和4年度の教育活動を進めてまいります。